

競輪補助事業の概要について

1 事業目的

当事業団が運営する養護老人ホーム、デイサービスセンター、就労継続支援B型事業所、地域活動支援センターでは、多くの高齢者の方、障がい者の方にご利用いただいております。コロナ発症はもちろんクラスターを防ぐため、消毒液噴霧器を購入し、手指消毒、室内の消毒を行い、サーモカメラ、空気清浄機、二酸化炭素濃度測定器、自動水栓、非接触体温計、冷風機を導入することで、更なるコロナ対策を実施し、施設利用者と従業員の感染拡大防止に努めることを目的としています。

2 実施内容 及び 事業実施効果

サーモカメラ	正面玄関に設置することで瞬時に体温測定でき、検温時の負担が軽減され、利用者及び職員の不安軽減や安全の確保を図ることができました。
空気清浄機	作業訓練室において、障がい者の方が作業中、常時使用しており、適度な加湿と部屋の空気を常にクリーンな状態に保ち、感染防止対策の強化を図ることができました。
二酸化炭素センサー	ホールの Co2 濃度を測定し見える化する事で、効率的な換気ができ、感染予防対策の強化を図ることができました。
冷風機	入居施設において、玄関入口に設置し、入居者と面会者がガラス越しに面会することができ、安心して過ごせる環境づくりができました。
自動水栓整備	直接蛇口に触れることなく手洗いでできることで、感染防止対策の強化を図ることができました。
非接触体温計	毎朝、障がい者の方が来所し、すぐに体温測定を行い、自身の体調を把握するとともに、感染防止対策の強化を図ることができました。
非接触温度計付オートディスプレイスタンド	障がい者の方が来所して、すぐに体温測定と手指のアルコール消毒を行うことで、自身の体調を把握するとともに、感染防止対策の強化、職員の負担軽減を図ることができました。
消毒用オートディスペンサー	施設入口に設置することで、感染防止対策の強化を図ることができました。
フットペダル式消毒液スタンド	着替えや食事等で利用する休憩室の入り口に設置し、入室の際の感染防止対策として利用しています。従来は、

	職員が入り口で手動のスプレーを持ち、入室する利用者ひとり一人の手に噴霧していましたが、この消毒液スタンドの導入で、利用者が一人で消毒できるようになり、職員の省力化が図られ、そのリソースを他の支援に活用できるようになりました。
アルコール消毒液噴霧器	施設内の全ての場所で利用者の方が帰られたあとに使用しており、手の届かない場所や広い範囲を隅々までしっかり消毒でき、感染予防の強化を図ることができました。



サーモカメラ 2台



空気清浄機 2台



二酸化炭素センサー 2台



冷風機 1台



自動水栓整備 6箇所



非接触体温計 2台



非接触温度計付
オートディスペンサー 1台



オートディスペンサー 2台



フットペダル式消毒液
スタンド 1台



アルコール消毒液噴霧器 1台

上記の物品を導入したことで、更なるコロナ対策を実施し、施設利用者と従業員の感染拡大防止を図ることができました。また、検温や消毒において、職員の負担が軽減されました。